

SYLLABUS

2024



別府市医師会立別府青山看護学校

3年課程

専門分野 授業計画

専門分野は、基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践、看護学領域別の臨地実習を基本の領域とし、それぞれに科目を設定しています。また、各領域と密接な関係をもつ7つの領域横断科目を設定しています。総計53科目（66単位）で構成しています。

基礎看護学は、総計9科目（11単位）で構成し、看護の基礎的理論や安全で安楽な看護を提供するための基本的看護技術、看護の展開方法を学びます。また、専門基礎分野の知識を活用して科学的根拠に基づいた看護実践を導くために、患者を想定したシミュレーション演習を多く取り入れながら、気づきを看護専門職の臨床判断につなげるための授業を展開していきます。

地域・在宅看護論は、総計5科目（5単位）で構成し、地域で生活する人々とその家族を理解し、地域における様々な場で多職種と連携・協働しながら看護を実践するための能力を養うための基礎を学び、実習は地域に暮らす人々の様々な活動の場、生活の場で展開します。少子・高齢社会の進展とともに需給が増している看護師の役割が期待される分野です。

成人看護学5科目（5単位）、老年看護学3科目（3単位）、小児看護学3科目（3単位）は、発達段階別の看護に加え治療が必要な人々に対する看護を健康段階別に学ぶ領域です。講義をとおして成長発達を理解し、様々な発達段階・健康状態にある人々に対する看護の方法を学び、実習をとおして看護実践能力につなぎます。さらに、実習をとおしては、安心・安全を保障する援助の実践を積み重ねます。

母性看護学3科目（3単位）では、女性のライフサイクルの健康に対応する能力を養います。また、実習ではマタニティサイクル期にある母子とその家族を総合的に理解し人間の生命の誕生と尊厳について考え、人間をかけがえない存在として理解していくための過程をたどります。

精神看護学3科目（3単位）では、精神機能に対応する能力を養うための知識を深めます。実習をとおしては、対象との関係を丁寧に振り返り、自分自身の行動が対象に与える影響について深く考え自分の傾向を見つめていきます。これらの過程をとおして援助的人間関係や治療的コミュニケーションについて学びを深めていきます。

看護の統合と実践は3科目（3単位）で構成し、医療安全をはじめチーム医療における看護マネジメントや多職種と連携・協働するための基礎的知識と実践力を身につけます。いよいよ看護師として活躍する直前の重要な科目です。

また、各看護学において共通する7科目（7単位）の領域横断科目を設定し、包括的、継続的な看護を展開するための知識を身につけます。領域横断科目は、看護師独自の専門性をもつ判断力や多職種と連携・協働する力を身につけるために欠かせない科目となります。

各看護学領域の臨地実習は総計12科目（23単位）で構成し、講義で学んだ知識・技術・態度を実践の場で活かし理論と実践を結びつけます。看護の対象を前に展開する実習は看護師としても、人としても成長できる貴重なものとなります。

実習をとおして理論と実践を統合した後に履修する地域・在宅看護論IVでは、事例をとおして人々が住み慣れた地域で暮らすための多職種と連携・協働にある支援についてまとめます。同じく、看護実践演習では複雑な状況下での看護場面を想定した演習をとおして看護実践力に導き、3年間の学びをまとめ看護師国家試験に臨みます。

専門分野を構成する領域

基礎看護学
領域横断
地域・在宅看護論
成人看護学
老年看護学
小児看護学
母性看護学
精神看護学
看護の統合と実践
臨地実習

看護の統合と実践

科目区分	専門分野	科目名	看護マネジメント	単 位	1 単位
対象学年	3 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当教員	①眞弓 恵美子 ②工藤 亜希子	実務経験 関連資格	①九州大学病院別府病院 副院長・総看護師長 ②大分県厚生連鶴見病院 看護師		
目 的	看護の機能を十分に発揮できるようにチーム医療及び多職種との協働の中で、看護におけるマネジメント及び看護師としてのメンバーシップやリーダーシップの基礎を理解する。また、災害看護を学び、看護の場に応じた基礎的能力を養う。				
目 標	1. 看護をしくみととらえ、よりよい看護の提供を追求するために人的・物的・財的資源の有効利用を考え、それを維持・活用するためのしくみを理解する。 2. 看護職に求められるグローバルな視点を理解する 3. 災害医療の概要と、災害看護に関する知識・技術を理解する			DP への対応 DP1・3・4・5・6 DP2,3,4,6 DP1,2,3,4,5,6、	
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準 備 学 習	
第 1 回 〔講義〕 (眞弓)	到達目標	看護におけるマネジメントを理解する	テキスト① 配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと	
	授業予定	1. ガイダンス 2. 看護マネジメントの概念について説明する 3. 看護のマネジメントが行われる場について説明する 4. 看護におけるマネジメントの考え方について説明する			
第 2 回 〔講義〕 (眞弓)	到達目標	看護ケアにおけるマネジメントを理解する	テキスト① 配布資料	医療安全と看護	
	授業内容	1. 患者の権利の尊重、意思決定の支援について説明する 2. 安全管理、医療事故対策、院内感染対策について説明する 3. 災害予防と対応、チーム医療について説明する			
第 3 回 〔講義〕 (眞弓)	到達目標	看護職のキャリアマネジメントを理解する	テキスト① 配布資料	看護学概論 第 14 回目	
	授業予定	1. 看護職のキャリア形成について説明する 2. タイムマネジメントについて説明する 3. ストレスマネジメントについて説明する			
第 4 回 〔講義〕 (眞弓)	到達目標	看護サービスにおけるマネジメントを理解する	テキスト① 配布資料		
	授業予定	1. 組織としての看護サービスマネジメントについて説明する 2. 看護サービス提供のしくみ(人材・施設設備・物品・情報)について説明する 3. 組織におけるリスクマネジメントについて説明する 4. サービス評価について説明する			
第 5 回 〔講義〕 (眞弓)	到達目標	マネジメントに必要な知識と技術を理解する	テキスト① 配布資料		
	授業予定	1. 組織とマネジメントについて説明する 2. リーダーシップとマネジメントについて説明する 3. 組織の調整について説明する			
第 6 回 〔講義〕 (眞弓)	到達目標	看護を取り巻く諸制度を理解する	テキスト① 配布資料	看護学概論 第 13 回目・14 回目	
	授業予定	1. 看護職の専門性について説明する 2. 医療制度について説明する 3. 看護政策と制度について説明する			
第 7 回 〔講義〕 (眞弓)	到達目標	看護マネジメントにおける一看護師としての役割と責任を理解する	配布資料	KJ法を用いて、グループで課題に取り組むため、教材を集めておくこと	
	授業予定	1. 看護者の専門性と責任について説明する 2. グループでの考えをまとめ、プレゼンテーションを行う(演習)			
第 8 回 〔講義〕 (工藤)	到達目標	災害医療における基礎知識を理解する	テキスト② 配布資料	テキスト②P2~16 は講義開始前に必ず読むこと	
	授業予定	1. 災害の種類と健康障害について説明する 2. 災害医療の特徴について説明する			

		3. 災害と情報について説明する 4. DMAT について説明する		
第 9 回 〔講義〕 (工藤)	到達目標	災害看護における基礎知識を理解する	テキスト② 配布資料	第2回目講義
	授業予定	1. 災害看護の特徴と看護活動について説明する 2. 災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護について説明する		
第 10 回 〔講義〕 (工藤)	到達目標	災害看護の展開を理解する	テキスト② 付録 DVD 学習 トリアージ タグ	演習は体操服で参加のこと
	授業予定	1. トリアージについて説明し、体験する 2. 応急処置について説明し、体験する		
第 11 回 〔講義〕 (濱砂)	到達目標	災害看護の展開を理解する	テキスト② 付録 DVD 学習 トリアージ タグ	演習は体操服で参加のこと
	授業予定	1. トリアージについて説明し、体験する 2. 応急処置について説明し、体験する		
第 12 回 〔講義〕 (工藤)	到達目標	被災者特性に応じた災害看護を理解する	テキスト② 配布資料	
	授業予定	1. 対象に対する災害看護について説明する (子ども・妊産婦・高齢者・障害者・精神障害者・慢性疾患患者・在日外国人)		
第 13 回 〔講義〕 (工藤)	到達目標	災害とこころのケアについて理解する	テキスト② 配布資料	
	授業予定	1. 被災者のこころのケアについて説明する 2. 遺族のこころのケアについて説明する 3. 被災救援者、救援者のこころのケアについて説明する		
第 14 回 〔講義〕 (工藤)	到達目標	国際看護の概要を理解する 看護とグローバル化した社会について考え、理解する	テキスト② 配布資料	
	授業予定	1. 看護職に求められるグローバルな視点、グローバルヘルスについて説明する 2. 文化を考慮した看護について説明する 3. 国際協力のしくみ、国際救援と看護、災害被害の国際化について説明する		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	①系統看護学講座 看護の統合と実践〔1〕看護管理：医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 看護の統合と実践〔3〕災害看護学・国際看護学：医学書院 e テキスト		
	参考図書			
	その他	配布資料、DVD(災害看護)、トリアージタグ		
授業以外の学習方法		指定した教科書を事前に読んでおくこと。		
履修上の留意点		講義内での演習や課題に主体的に取り組んでください。		

科目区分	専門分野	科目名	医療安全と看護	単 位	1単位
対象学年	2学年	学 期	前期	時 間	30時間
担当教員	①宮脇 智 ②安部 三枝子	実務経験 関連資格	①国立病院機構西別府病院 看護師・看護師長 ②病院における看護師経験・別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
目 的	医療安全の基礎的知識を理解し、その知識を基に安全に医療看護を提供できる基礎的能力を養う				
目 標	医療安全に関する最新の知識を学び、主体的に安全を守る技術を理解する				DP への対応
					DP 3、4
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回 〔講義〕 (安部)	到達目標	医療安全を学ぶ意義と重要性を理解する		テキスト① 配布資料 DVD	テキストを事前に読んでおく
	授業予定	1. ガイダンス 2. 医療安全の意味とその重要性について説明する 3. 医療事故の定義と看護業務について説明する 4. 看護職の法的規定と医療安全について説明する			
第 2 回 〔講義〕 (安部)	到達目標	看護事故のメカニズムと看護事故防止の考え方を理解する		テキスト① 配布資料	
	授業内容	1. 事故発生のメカニズムについて説明する 2. ヒューマンエラーについて説明する 3. 人間の特性について説明する			
第 3 回 〔講義〕 〔演習〕 (安部)	到達目標	第2回と同じ		配布資料	
	授業予定	4. メタ認知について説明する 5. 事故分析について説明し、演習する (RCA)			
第 4 回 〔講義〕 〔演習〕 (安部)	到達目標	医療安全とコミュニケーションについて理解する		テキスト① 配布資料 DVD	演習においてグループと協力し、自分の意見が述べられるようにしておく
	授業予定	1. チームステップスについて説明し、体験する 2. インシデントレポートの意義について説明する			
第 5 回 〔講義〕 〔演習〕 (安部)	到達目標	危険予知トレーニングを演習し、リスクセンスを高める		配布資料	〃
	授業予定	KYT 演習について説明し、演習する			
第 6 回 〔講義〕 〔演習〕 (安部)	到達目標	第5回と同じ		配布資料	〃
	授業予定	第5回と同じ			
第 7 回 〔講義〕 〔演習〕 (安部)	到達目標	領域をこえて共通する事故防止について理解する		テキスト① 配布資料	
	授業予定	1. 領域をこえて共通する事故防止について説明する 1) 患者間違い 2) 多重課題やタイムプレッシャー 3) 思い込みと行動パターン 2. 衛生上の事故防止について説明する			
第 8 回 〔講義〕 〔演習〕 (安部)	到達目標	療養上の世話における事故防止について理解する		テキスト① 配布資料	
	授業予定	療養上の世話に関する看護業務の事故防止について説明する 1. 転倒・転落 2. 窒息・誤嚥 3. 入浴			
第 9 回 〔講義〕 〔演習〕 (安部)	到達目標	診療の補助の患者に投与する看護業務における事故防止について理解する		テキスト① 配布資料	
	授業予定	患者に投与する業務における事故防止について説明する 1. 注射 2. 医療機器 3. 輸血 4. 内服と薬業務 5. 経管栄養 6. チューブ管理			
第 10 回 〔講義〕	到達目標	安全管理体制と医療安全対策の国内外の潮流について理解する		テキスト① 配布資料	

〔演習〕 (安部)	授業予定	1. 組織の安全管理体制について説明する 2. 医療安全対策の国内外の潮流について説明する		
第11回 〔講義〕 (宮脇)	到達目標	医療安全への取り組みと事故発生メカニズムに関わるリスクマネジメントの実際を理解する	テキスト①	
	授業予定	1. 国の医療安全への取り組みについて説明する 2. 看護職能団体の取り組みについて説明する 3. リスクマネージャーの役割とリスクマネジメントについて説明する。		
第12回 〔講義〕 (宮脇)	到達目標	看護における医療事故と安全対策を考え、事故分析について理解する	テキスト①	
	授業予定	1. 看護業務と事故発生要因について説明する 2. 臨床におけるインシデントや医療事故の種類と対策について説明する 3. 事故分析を説明する。		
第13回 〔講義〕 (宮脇)	到達目標	医療事故後の対応を理解する	テキスト①	
	授業予定	1. 医療事故発生時の初期対応の考え方と方法について説明する 2. 紛争化の防止対策について説明する 3. 専門職としての備えについて説明する		
第14回 〔講義〕 (宮脇)	到達目標	医療の質の評価を理解する	テキスト①	
	授業予定	1. 医療事故の報告制度、医療の質の評価について説明する		
第15回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第28条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	系統看護学講座 看護の統合と実践〔2〕医療安全：医学書院 eテキスト		
	参考図書	ビジュランクラウド医療安全		
	その他	配布資料、DVD (医療安全)		
授業以外の学習方法		指定したテキストを事前に読んでおくこと。		
履修上の留意点		講義内での演習や課題に主体的に取り組むこと。		

科目区分	専門分野	科目名	看護実践演習	単 位	1 単位
対象学年	3 学年	学 期	後期	時 間	30 時間
担当教員	服平 敏枝 岡部 裕美	実務経験 関連資格	病院における看護師経験 別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
目 的	人々を理解する力、人々中心のケアを実践する力、看護の質を改善する力という看護実践能力を身につけ、複雑な状況下での看護場面を想定し、適切な看護判断ができる能力を養う。				
目 標	1. 基本的な看護技術を活用し、対象にあった援助を考え安全安楽に実施することを理解する 2. 既習学習や臨地実習で得た知識や技術を統合し、看護援助を提供することを理解する 3. 臨床現場に即した状況での看護実践を行い、自己の看護技術を振り返り課題を見出すことを理解する 4. クリティカルケア看護の基本的概要を理解する				DP への対応 D P 1・2・3・4・6 D P 1,2,3,4,5,6 D P 1,2,3,4,6 D P 3,4
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準 備 学 習
第 1 回 〔講義〕	到達目標	臨床看護実践能力を理解する		①配布資料 ②課題プリントA	・既習学習の“臨床判断”の講義資料を準備し、復習しておく
	授業予定	1. ガイダンス 2. 臨床看護実践能力について説明する 3. 「対象の全体像をとらえる1」について説明する			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	対象の全体像をとらえることについて理解する		①②	・課題プリントAについての調べ学習をしておく ・グループ学習
	授業内容	1. 「対象の全体像をとらえる2」について説明する 2. 対象の個別性をふまえた援助について説明する			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	対象の変化に応じた看護を考え、理解する		③課題プリントB	・課題に必要な学習の準備をしておく
	授業予定	対象の変化に応じた看護について説明する			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	対象の変化に応じた看護を考え、理解する		③	・課題プリントBについての調べ学習をしておく ・グループ学習
	授業予定	対象の変化に応じた看護について説明する			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	クリティカルケア看護が必要な対象の特徴と援助を理解する		①、④ DVD視聴 CPR 器具 AED	・既習した基礎看護技術の復習をしておく ・グループ学習
	授業予定	1. クリティカルケア看護の専門性について説明する 2. BLS、ACLS について説明し、体験する（演習）			
第 6 回 〔講義〕	到達目標	クリティカルケア看護が必要な対象の特徴と援助を理解する		① CPR 器具 AED	・既習した基礎看護技術の復習をしておく ・グループ学習
	授業予定	1. クリティカルケア看護の専門性について説明する 2. BLS、ACLS について説明し、体験する（演習）			
第 7 回 〔講義〕	到達目標	対象の変化に応じた看護を考え、理解する		①②③	・看護実践演習に向けた準備と練習をグループで行う
	授業予定	対象の変化に応じた看護について説明し、体験する（演習）			
第 8 回 〔講義〕	到達目標	対象の変化に応じた看護を考え、理解する		①②③	・看護実践演習に向けた準備と練習をグループで行う
	授業予定	対象の変化に応じた看護について説明し、体験する（演習）			
第 9 回 〔講義〕	到達目標	対象の変化に応じた看護を考え、理解する		①②③	・看護実践演習に向けた準備と練習をグループで行う
	授業予定	対象の変化に応じた看護について説明し、体験する（演習）			
第 10 回 〔講義〕	到達目標	対象の変化に応じた看護を考え、理解する		①②③	・看護実践演習に向けた準備と練習をグループで行う
	授業予定	対象の変化に応じた看護について説明し、体験する（演習）			
第 11 回 〔講義〕	到達目標	オリエンテーションを受け、シミュレーションテストに向けての準備を理解する		⑤シミュレーションテスト要項	・既習学習の臨床判断を復習しておく
	授業予定	1. シミュレーションテストについて説明する			

		2. 知識確認テストについて説明し、実施する		
第 12 回 〔講義〕	到達目標	対象の状況に応じた看護の実践を理解する	②③④ ⑥卒業時目標到達度表	・事例に応じた看護実践について学んだことを復習しておく
	授業予定	シミュレーションテストの実施		
第 13 回 〔講義〕	到達目標	対象の状況に応じた看護の実践を理解する	②③④⑥	・事例に応じた看護実践について学んだことを復習しておく
	授業予定	シミュレーションテストの実施		
第 14 回 〔講義〕	到達目標	対象の状況に応じた看護の実践を理解する	②③④⑥	・事例に応じた看護実践について学んだことを復習しておく
	授業予定	シミュレーションテストの実施		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)	⑦リフレクションシート	・自己の看護実践を振り返り、再度学習を深める
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : レポート 10%、知識確認テスト 30%、シミュレーションテスト 60%、 以上の合計 100% で 60% 未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト			
	参考図書			
	その他	①配布資料、②課題プリント A、③課題プリント B、④DVD 急変時の看護		
授業以外の学習方法		積極的に事例検討と看護実践のトレーニングを行ってください。		
履修上の留意点		講義内での演習や課題に主体的に取り組んでください。		

